

APIR自主研究プロジェクト・オンラインフォーラム
「アジアにおける経済のダイナミズムとグローバル化の展望」
～これからの東アジアー保護主義の台頭とメガFTAs～
(2020年10月29日)

COVID-19後の東アジアの事業環境： 世界貿易秩序はどう変わるのか

APIR上席研究員
慶應義塾大学経済学部教授
東アジア・アセアン経済研究センターチーフエコノミスト
木村 福成

これからの 東アジア

保護主義の台頭とメガ FTAs

Fukunari Kimura
本村 福成
[編著]

今後もグローバリゼーションの受益者たりうるか？

貿易自由化と経済統合はどのような論理で望ましいとされるのか。国際貿易論、国際通商政策論、国際政治学の基礎に立ち返り、東アジアが保護主義やパワーポリティクスに抗し、メガFTAs形成を進めていかねばならない根拠を明らかにする。COVID-19後を考える上でも欠かせない視点を提供する。

文眞堂

【主要目次】

- 第1章 嵐の中の東アジア経済統合：現状と展望
- 第2章 なぜ自由貿易を目指すべきなのか：国際貿易論の視点
- 第3章 国際通商秩序の危機とメガ FTAs：貿易ルールの視点
- 第4章 東アジア経済統合と安全保障の連関：国際政治学の視点 **湯川**
- 第5章 ASEAN 経済統合の深化とアメリカ TPP 離脱：逆風の中の東アジア経済統合 **湯川**
- 第6章 拡大アジア太平洋における FTA と日本企業
- 第7章 ASEAN 連結性強化と産業立地の変化：米中貿易戦争によるベトナムへの投資加速
- 第8章 大改革進むベトナムの経済統合戦略：EU との FTA 発効を目指して **カオ**
- 終章 新型コロナウイルス到来を受けて

2020年9月30日 第1版第1刷発行 文眞堂

1. 東アジアの繁栄を支えたもの

- 東アジア、1980年代後半以降、機械産業を中心とする国際的生産ネットワーク（IPNs）を展開、“Factory Asia”を実現した。
 - 「政冷経熱」
 - 発展途上国：急速な経済成長と貧困撲滅を達成。
 - 日本・日本企業にとっても競争力の源泉に。
- 背景に「ルールに基づく国際貿易秩序」があった。
 - 世界貿易機関（WTO）
 - 域外輸出に際してのMFN、紛争解決、国際ルール一般
 - 地域経済統合（RTAs）
 - 貿易・投資の自由化・円滑化
- ASEAN中心性（centrality）の意味

2. COVID-19以前から始まっていた混乱

- 実体経済のグローバル化のさらなる進行
 - 世界はまだフラットではない。グローバル化の余地。技術革新。
- 一方で、グローバル化に逆行する政治的・地政学的な動き
 - 一部先進国における反グローバル化の隆盛
 - 背景に中国をはじめとする新興国の台頭
 - 狭義の通商問題を超える米中貿易戦争
- 「ルールに基づく国際貿易秩序」に揺らぎ
 - 米トランプ政権の貿易政策、米中貿易戦争、...
 - 貿易政策と安全保障・地政学的戦略とのリンク

3. メガFTAsに期待された役割

- FTAs網形成からメガFTAsへ
 - 高いレベルの貿易・投資の自由化・円滑化
 - 国際ルール作り (bottom-up approach)
 - 政策リスクの減少、安定性・予測可能性の確保
- CPTPP成立の意味
 - 当面は米国抜き、自由貿易を志向するmiddle powerのcoalition
 - ASEAN統合、RCEP等への影響は？
 - アジアとEUの連携、メガFTAsのハブ

4. COVID-19がもたらしたものの

- 東アジア、感染抑制については比較的 success。
 - GDP、貿易額はほとんどの国で5月にbottom out。しかし今後も、人の移動制限は容易に外せず、また先進国発の負の需要ショックも大きい。
 - 機械産業を中心とするIPNsは今のところ生産能力を維持。引き続き注視が必要。
 - 運輸、流通、観光、労働送金は大打撃。貧困問題とのリンク。
 - マクロ経済、さらには政治の安定は保たれるのか？
- 米中対立等、さらに深刻化。
 - Decouplingの進行、どこまで？米大統領選後も続く見込み。
- EUのgreen shift。
 - 米民主党政権が誕生すると、東アジアのエネルギー政策も大きな見直しをせまられるか？
- WTOのさらなる弱体化。

5. 東アジアと日本：今後の課題

- IPNsを中核とするFactory Asiaモデル、さらなる発展の可能性はあるのか？
- COVID-19によって加速されるデジタル・トランスフォーメーションに遅れをとらないためにはどうすればよいのか？
- 米中のdecouplingはどこまで進むのか？（業種、国・企業）
- “Security issues”はどこまで貿易・投資に踏み込んでくるのか？
- メガFTAsのハブとなることによって、どれだけの安定性・予測可能性が確保できるのか？
- WTO改革のために果たすべき役割は何か？